

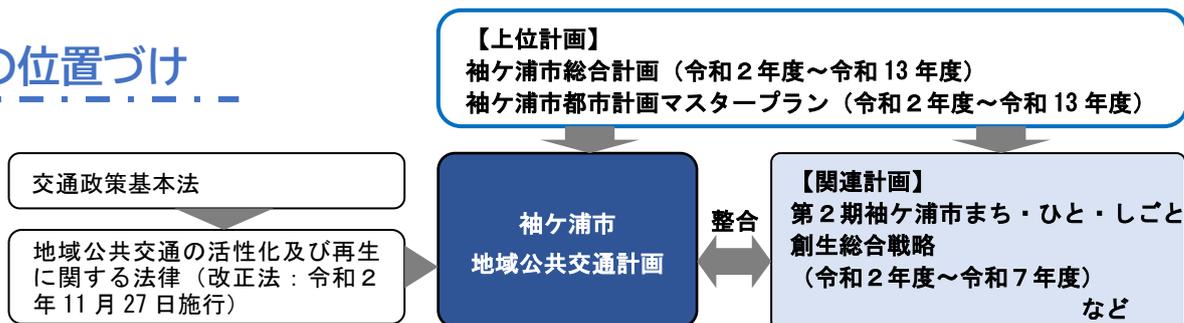
袖ヶ浦市地域公共交通計画《概要版》

1 計画策定の目的と位置づけ

目的

地域住民及び利用者にとって利便性の高い持続可能な地域公共交通ネットワークを形成するため、袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会での協議を経て、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に規定する公共交通施策のマスタープランとなる「袖ヶ浦市地域公共交通計画」を策定します。

計画の位置づけ



計画区域

本計画は袖ヶ浦市全域を対象とします。

計画期間

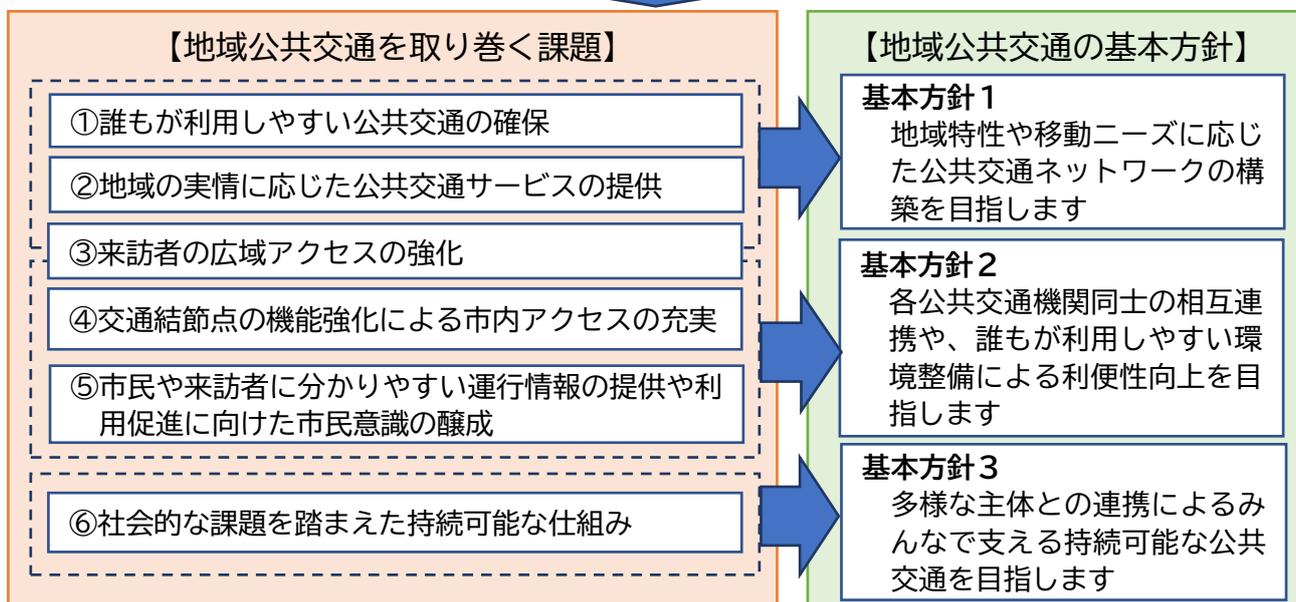
本計画の期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

2 地域公共交通の構築に係る基本方針

基本方針

本市における地域公共交通は、次の3つの基本方針により、多くの人が利用しやすい持続可能な交通網の構築を目指します。

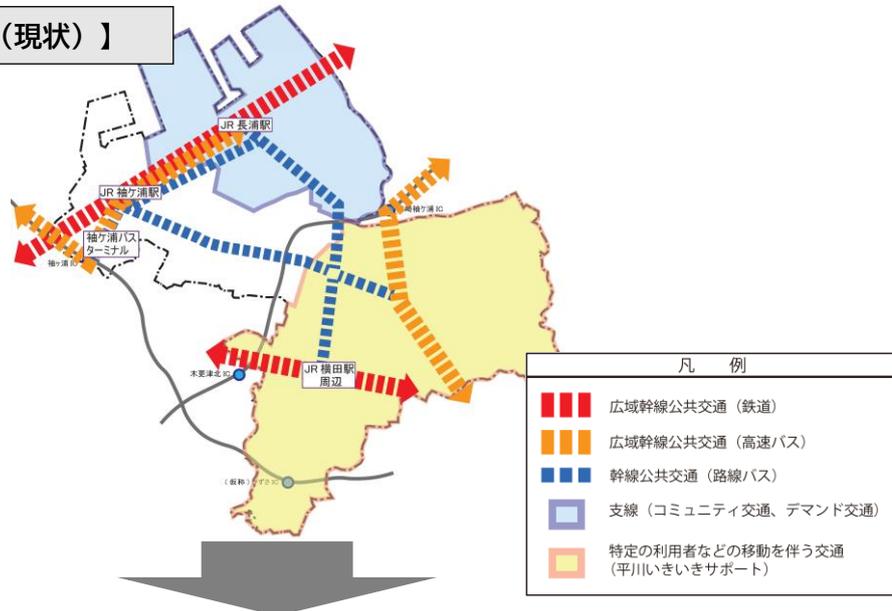
【基本理念】まち・ひと・くらしの活動をみんなで支える
持続可能な公共交通ネットワークの実現



公共交通骨格形成イメージ

- 朝夕の通勤・通学時間帯や日中時間帯の需要・ニーズに応じた公共交通ネットワークの再編
- （広域）幹線公共交通と地域内公共交通との連携強化

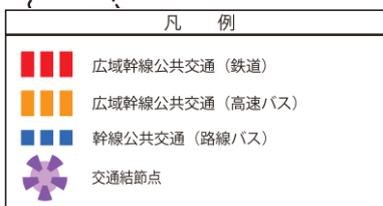
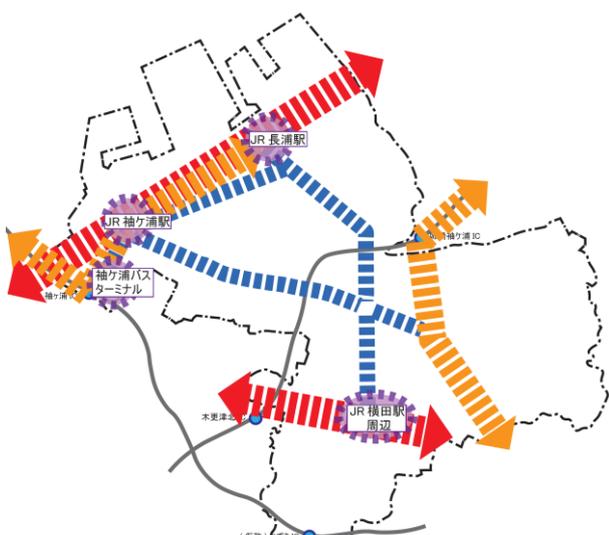
【公共交通ネットワーク（現状）】



【将来公共交通ネットワークイメージ】

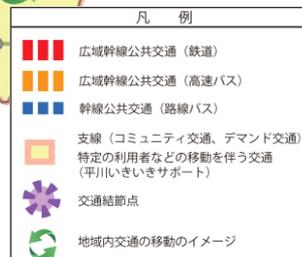
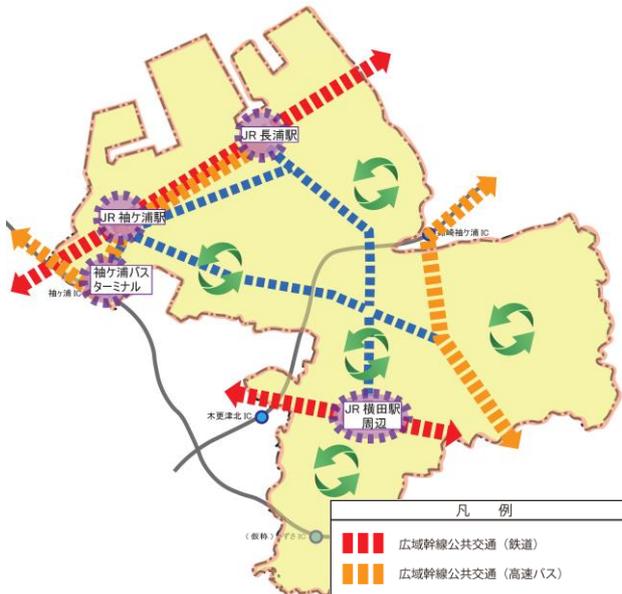
【朝夕時間帯】

- 鉄道、高速バスによる広域アクセスへの移動支援
- JR 袖ヶ浦駅や JR 長浦駅及び袖ヶ浦バスターミナル方面への通勤・通学需要への対応



【日中時間帯】

- 地域内公共交通の充実による地域内の移動支援（買物、通院及び公共施設利用時への対応）



3

計画の目標及び実施事業

実施事業の概要

市 袖ヶ浦市 県 千葉県 警 木更津警察署
 (実施主体) 鉄 鉄道事業者 バ バス事業者 タ タクシー事業者 地 地域

目標① 拠点間及び地域間を移動しやすい公共交通ネットワークの形成

【事業1】路線バスの運行維持及び利便性向上

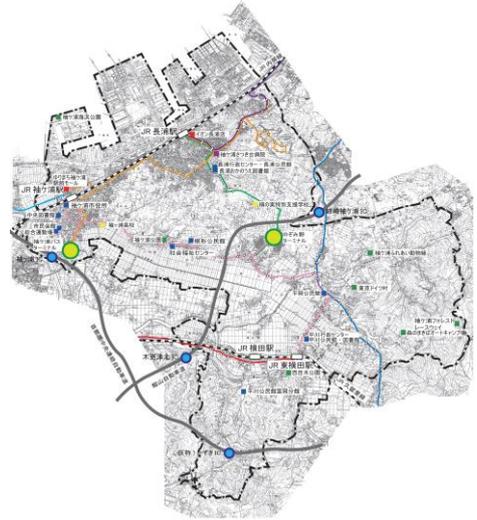
市 バ

路線バスについては、通勤・通学者の移動手段を確保しながら、利便性の向上と効率的な運行となるよう検討します。検討にあたっては待ち時間の少ない円滑な乗り継ぎ環境を提供するため、鉄道や高速バスのダイヤに合わせた発着時間の調整を行います。

また、さらなる利便性の向上に向けた取組や、社会変化による新たなニーズに応じた改善を継続的に行います。

なお、馬来田線、姉ヶ崎線の2系統については、市及び事業者の運営努力では路線の維持が難しく、国の地域公共交通確保維持事業により、また、千葉県のバス運行対策費補助金の交付を受け運行を確保・維持する必要があります。

また、のぞみ野長浦線、馬来田線、平岡線、代宿団地袖ヶ浦 BT 線については、市の補助金対象路線となっており、沿線地域の生活交通として引き続き運行を維持できるよう近隣市やバス事業者と連携し、見直しを行いながら確保・維持を図ります。



【事業2】地域内移動手段の検討

市 バ タ 地

市内において、デマンド型乗合送迎サービス（チョイソコがうら）の実証運行を実施し、各地区において地域内の移動手段にデマンド型交通が適しているのかを実証します。

デマンド型交通が適していないと判断された場合、各地区での地域特性を踏まえた別の交通手段を検討します。

なお、令和7年度以降に本格運行を実施する地区においては国の地域公共交通確保維持事業費補助金を活用し運行を確保・維持する必要があります。



【事業3】自動運転技術の導入

市 バ 県

これまで運転手の確保策としてバス事業者をはじめとする交通事業者と連携し各種取組を実施していますが、効果は限定的なものとなっています。

このため、国等の補助金の活用を図りながら自動運転技術を導入し運転手確保策の実施と併せて運転手不足の解消を目指します。

事業の実施にあたっては先駆的な事例を参考とし、全国で既に自動運転レベル4の運行が実現している路線バスから着手し、既存のバス路線の代替を基本的な考え方として実施していきます。



Sodegaura city Autonomous Bus

目標② 広域アクセスの利便性向上

【事業4】 鉄道（JR 内房線、JR 久留里線）の利用促進

市 県 鉄

宝探しイベントやスタンプラリー等の鉄道利用を促進する企画切符などの周知 PR や、各種イベントなどの継続的な開催により、利用促進を図ります。

JR 久留里線については、JR 久留里線活性化協議会の活動を通じて、関係団体と連携しながら利用促進に努めます。

【事例】 JR 東日本・謎解きラリーイベント



【事例】 JR 久留里線・スタンプラリー



【事業5】 鉄道（JR 内房線、JR 久留里線）の利便性向上

市 県 鉄

鉄道と路線バスの乗継や駅舎の快適さなど、利便性向上を図ります。

【事業6】 高速バスの利便性向上

市 バ

袖ヶ浦バスターミナルに乗入れをしていない既存の高速バスの乗り入れなどを検討し、利便性の向上を図ります。



目標③ 利用しやすい公共交通環境の整備

【事業7】 交通結節点の機能強化

市 県 鉄 バ タ

交通結節点である JR 袖ヶ浦駅、JR 長浦駅、JR 横田駅周辺及び袖ヶ浦バスターミナルについては、乗り継ぎがしやすくなるよう、ダイヤ接続の調整や運賃負担などについて検討します。

また、JR 長浦駅や JR 横田駅周辺は、乗換え等の乗継案内サインなどの充実について検討します。

なお、検討にあたっては、土地所有者や施設管理者と協議・連携して進めます。



【事業8】 利用しやすい車両（バス・タクシー）の導入促進

バ タ

乗り降りが容易なノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーなど、誰でも利用しやすい車両について国や千葉県の補助制度を活用することによる早期の導入を促進します。

【事業9】 運転免許証自主返納の促進に向けた検討

市 警 バ タ 地

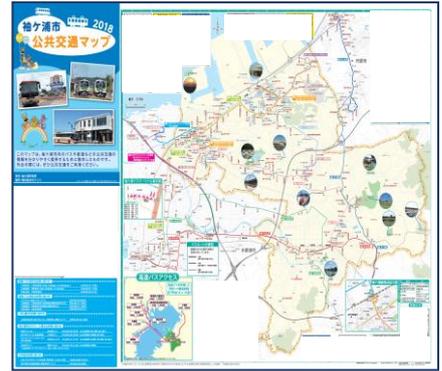
車が無い日常生活への不安を軽減し、公共交通利用への転換につなげるため、高齢者の運転免許証自主返納支援制度や返納者が受けられる優待制度の周知広報に努めるとともに、地域内移動手段について検討を進めます。

目標④ 利用者目線に立った分かりやすい運行情報の提供

【事業 10】 運行情報提供の充実



市民や来訪者へ公共交通の運行内容を分かりやすく伝えて利用促進を図るため、各公共交通機関の情報を網羅的に掲載した「公共交通マップ」を作成・更新し、広く配布します。



【事業 11】 商業・観光施設などとの連携サービスの導入



まちの賑わいの創出を促すため、商業施設などと連携し、公共交通の利用に付加価値を付けた割引サービスや企画切符などを検討します（帰りの路線バスきっぷの進呈、公共交通利用者へのポイントサービスなど）。

さらに、公共交通に乗り慣れていない市民に対して、公共交通を利用して安心かつスムーズに目的地に移動できるよう、公共交通を利用した「お出かけモデルプラン」を作成し、市ホームページへの掲載などにより需要の掘り起こしを図ります。また、市外からの観光客向けに、目的地までの乗換案内の情報発信や、レンタサイクルを活用した周遊企画の周知などを行い、本市に來やすい環境を整えます。

【事例】 木更津市・お出かけキップ



目標⑤ 地域全体で支える公共交通の構築

【事業 12】 意識啓発を促す利用促進活動の展開



市民に公共交通の意義と必要性を理解してもらい、身近な移動手段として認識してもらうため、普段公共交通に乗る機会の少ない子ども達に鉄道やバス、タクシー等の乗り方などを学んでもらい、高齢者には日常生活の移動に公共交通を利用する際の利点を発信するなど、利用者層ごとに効果的な利用促進活動を行っていきます。

また、公共交通の実情に関する情報提供や、市民も参画できるような各種啓発活動を継続的に実施します。

【事例】 本市・バスの乗り方教室



【事業 13】 運転手の確保策の実施



バス・タクシー事業者では、ホームページなどで運転手の求人を経営的に求めているものの、運転手確保に苦慮している状況のため、バス事業者とタクシー事業者の共同による就職イベントなどを検討し開催します。

【事例】 山口市・運転士体験会&就業説明フェア



実施事業一覧と実施時期

基本方針	目標	実施事業	実施主体						事業詳細	実施項目	実施時期（年度）						
			本市	千葉県	木更津警察署	交通事業者					地域	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	
						鉄道	バス	タクシー									
1. 地域特性や移動ニーズに応じた公共交通ネットワークの構築を目指します	①拠点間及び地域間を移動しやすい公共交通ネットワークの形成	【事業1】路線バスの運行維持及び利便性の向上	○				◎		1-1. 路線バスの運行維持及び利便性向上	検討、協議・調整、運行実施	→						
									1-2. 地域間幹線系統および他助成系統の維持	検討、改善、維持	→						
		【事業2】地域内移動手段の検討	デマンド型乗合送迎サービス（チョイソコがうら）の本格運行・実証運行と評価・検証	◎						2. 地域内移動手段の検討	長浦地区	デマンド型乗合送迎サービスの実証運行	実証運行	→			
												地域特性を踏まえた移動手段の検討	検討、協議・調整 実証運行	→			
			各地区での地域特性を踏まえた移動手段の検討	◎						その他の地区	デマンド型乗合送迎サービスの実証運行	実証運行 評価 本格運行	→				
									地域特性を踏まえた移動手段の検討		検討、協議・調整 実証運行	→					
		【事業3】自動運転技術の導入	◎	○					3. 自動運転技術の導入	検討、準備 実施	→						
	②広域アクセスの利便性向上	【事業4】鉄道（JR 内房線、JR 久留里線）の利用促進	○	○			◎		4. 鉄道（JR 内房線、JR 久留里線）の利用促進	イベント開催・周知 PR	→						
		【事業5】鉄道（JR 内房線、JR 久留里線）の利便性向上	○	○			◎		5. 鉄道（JR 内房線、JR 久留里線）の利便性向上	検討、協議・調整 実施	→ 随時						
		【事業6】高速バスの利便性向上	○				◎		6. 乗入れなどの検討	検討、協議・調整 実施	→ 随時						
2. 各公共交通機関同士の相互連携や、誰もが利用しやすい環境整備による利便性向上を目指します	③利用しやすい公共交通環境の整備	【事業7】交通結節点の機能強化	◎	○			○	○	7. 交通結節点の機能強化	整備内容検討、協議・調整 実施	→ 随時						
		【事業8】利用しやすい車両（バス・タクシー）の導入促進					◎	◎	8. 利用しやすい車両の導入促進	更新検討・順次導入	→						
	④利用者目線に立った分かりやすい運行情報の提供	【事業9】運転免許証自主返納の促進に向けた検討	9-1. 高齢者運転免許証自主返納支援制度の周知							9-1. 高齢者運転免許証自主返納支援制度の周知	回覧等による周知	→					
			9-2. 高齢者運転免許証自主返納事業の今後の検討	◎	○			○	○	9-2. 高齢者運転免許証自主返納事業の今後の検討	検討	→					
			9-3. 返納者が受けられる特典の周知							9-3. 返納者が受けられる特典の周知	チラシ等による周知	→					
			9-4. 地域内移動手段の検討							9-4. 地域内移動手段の検討	検討	→ 再掲（事業2）					
	④利用者目線に立った分かりやすい運行情報の提供	【事業10】運行情報提供の充実	10. 公共交通マップの作成・配布	◎				○	○	10. 公共交通マップの作成・配布	情報検討、マップ作成・配布 周知 PR	→					
			【事業11】商業・観光施設などとの連携サービスの導入	11-1. 割引サービス・企画切符などの導入							11-1. 割引サービス・企画切符などの導入	企画内容検討 実施	→				
				11-2. おでかけモデルプランの作成	◎				◎	○	11-2. おでかけモデルプランの作成	プラン検討・作成 周知 PR	→				
		11-3. 観光客向けの新たな情報発信							11-3. 観光客向けの新たな情報発信	検討 実施	→						
3. 多様な主体との連携によるみんなで支える持続可能な公共交通を目指します	⑤地域全体で支える公共交通の構築	【事業12】意識啓発を促す利用促進活動の展開	◎				◎	◎	○	12. 新たな利用促進活動	検討・準備 実施	→					
		【事業13】運転手の確保策の実施	○				◎	◎	○	13. 運転手の確保策	検討・準備 実施	→					

※ 実施主体 ◎：各実施事業を主で行う主体 ○：実施事業を実施する上で協力・支援する主体

計画目標の達成状況を評価するための評価指標

基本方針	目標	評価指標	現状値 R 3年度	中間値 R 7年度	目標値 R 9年度
1. 地域特性や移動ニーズに応じた公共交通ネットワークの構築を目指します	①拠点間及び地域間を移動しやすい公共交通ネットワークの形成	バス補助路線の収支率	46.9%	52.3%	55.3%
		バス補助路線の年間利用者数	279,716人	288,000人	304,000人
		公共交通サービス全般の利用者満足度	49.4%	—	55.4%
		デマンド型乗合送迎サービス（チョイソコがうら）の乗合率	—	1.40	1.50
		デマンド型乗合送迎サービス（チョイソコがうら）の年間利用者実人数	—	1,220人	1,400人
		デマンド型乗合送迎サービス（チョイソコがうら）の収支率	—	14%	15%
		自動運転レベル4を運行するバス路線数	—	—	1路線
	②広域アクセスの利便性向上	鉄道の1日平均乗車人員 ・JR 袖ヶ浦駅 ・JR 長浦駅 ・JR 横田駅	4,828人 4,906人 146人	5,222人 5,495人 156人	5,615人 6,084人 165人
		袖ヶ浦バスターミナルにおける高速バス年間利用者数	629,260人	837,000人	1,117,000人
	2. 各公共交通機関同士の相互連携や、誰もが利用しやすい環境整備による利便性向上を目指します	③利用しやすい公共交通環境の整備	交通結節点整備箇所数	—	2箇所
運転免許自主返納者数			167	167	200
④利用者目線に立った分かりやすい運行情報の提供		運行情報案内に関する利用者満足度	53.0%	—	59.0%
		商業施設などとの連携による利用者促進活動の導入件数	—	—	1件以上
3. 多様な主体との連携によるみんなで支える持続可能な公共交通を目指します	⑤地域全体で支える公共交通の構築	啓発活動参加者数	—	60人以上	80人以上
		共同での運転手募集活動の実施回数	—	1回	1回

袖ヶ浦市地域公共交通計画 <<概要版>>

- ・発行年月：令和5年3月（令和8年2月改定）
- ・発行：袖ヶ浦市
袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会
- ・TEL：0438-62-2327 ・Mail：sode01@city.sodegaura.chiba.jp